

海外セレブの心をつかんだブナコランプ (ブナコ漆器製造 株式会社)

会社概要(平成24年3月現在)

- 所在地:青森県弘前市豊原1丁目5番地4号
- 代表者:代表取締役 倉田 昌直
- 資本金:2,100万円
- 売上高:1億1,000万円
- 従業員数:23名
- URL:<http://www.bunaco.co.jp/>

①事業概要

<木製品製造>

ブナコ漆器製造(株)の創業は昭和38年。青森県の地域資源であるブナを厚さ1ミリのテープ状に加工し、それをコイル状に巻いて成型するという、職人技のユニークな製法。

かつては食器用漆器を中心に生産しており、ギフト需要も取り込んで国内の主だった百貨店を取引先とするなど好評を博していたが、消費トレンドの変化を背景に、平成14年に照明ランプなど新商品を開発し、インテリア市場に参入。BUNACOの特徴である、自由な造形を活かした個性的なデザインが話題を呼び、六本木ヒルズのトラヤカフェを始め高級ホテルなどに相次いで採用されている。

以降、ランプに続きスツールなどインテリア商品を次々と開発。最新作はスピーカーで、優れたデザインと音を「体感」できるスピーカーとして国内外を問わず大きな反響が寄せられており、新たなファン層の獲得が期待されている。

②海外展開概要

<北米・欧州への販路開拓>

インテリア商品の開発を機に海外市場に本格参入。インテリアの一大展示会である、パリの「メゾン・エ・オブジェ」にも毎年参加し、ブース来場者のみならずインテリア雑誌などにも大きく取り上げられ、認知度を上げている。

今ではブナコ商品は、パリの高級ブティックなどでも扱われ、英国ビクトリア&アルバート博物館の永久収蔵品となるなど、欧米を中心に販路を拡大している。

③取組の重点(活用した支援策を含む)

ブナコの独特な製法は、もともと青森県工業試験場との共同研究による技術をベースとしている。

また、ヒット作のブナコランプも得意先の依頼が開発のきっかけで、ブナコは外部の声を柔軟に取り入れて新たな分野を開拓している。

最近では経済産業省の地域資源活用促進法の認定を受け、「地域資源活用売れる商品づくり支援事業補助金」により新たな商品開発や販路開拓に取り組み、また、海外の展示会出展にあたってはジェトロの見本市出展支援事業により支援を受けるなど、様々な支援策を積極的に活用している。

④今後の事業展開について

ブナコのユニークな造形は熟練した職人の技があつてこそ。また、外部の提案を柔軟に受け入れることができるのも、技術に自信があつてのこと。今後も、他に類を見ない革新的な製法を生かした新たな商品開発が期待される。



トラヤカフェのブナコランプ



新作 スピーカー「Faggio」

(平成24年10月現在)

データ出所:東北経済産業局